



トヨタモビリティ東京株式会社

公益財団法人 交通遺児等育成基金に 150 万円を寄付

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 佐藤 康彦）は、5月29日（水）に公益財団法人 交通遺児等育成基金（小幡 政人会長）へ150万円を寄付した。



【目録と感謝状を持つ菅野専務理事（左）と当社鎌野執行役員（右）】

当社オリジナルの「メンテナンスチャリティー」とは、車検・法定点検のご入庫1台につき3円を交通遺児等育成基金の寄付に向けるもの。自動車販売に携わる会社の責務として“交通事故ゼロ”を目指し、交通安全の取り組みに力を注ぐとともに、交通遺児等の健やかな育成を願い、2002年より継続的に行っている。今回で通算22回目、寄付総額は2,000万円を超えた。

寄付式は交通遺児等育成基金の事務所にて執り行われ、当社から鎌野光治執行役員が、交通遺児等育成基金から菅野孝一専務理事が出席した。菅野専務理事は式の挨拶で、「20年以上にわたりご支援いただき大変感謝している。近年はクルマの安全性能向上により、交通事故死者数は減少傾向にあるが、まだまだ支援を必要としている人はいる。今後もご協力いただきながら活動を継続していきたい。」と述べた。

当社は引き続き交通遺児等育成基金への支援を行うことで、SDGs 目標3『すべての人に健康と福祉を』の達成に尽力していく。

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp/>

取材のお問い合わせ：総務部 総務企画室 広報グループ

koho@toyota-mobi-tokyo.co.jp